

大学の仲間たち



和名 アサマイチモンジ
学名 *Ladoga glorifica*
英名 The Asama White Admiral
目 チョウ目
科 タテハチョウ科
開張 45～55mm

アサマイチモンジ

日本産では中型を代表するチョウで、色彩が派手な種が多いのが、今回紹介するグループのタテハチョウ科です。

タテハチョウ科の中には、黒地、あるいは黒褐色に白い斑紋がちりばめられ、それがすじ模様に見える一連の仲間があり、そのすじ模様や、すじの数からイチモンジと呼ばれたり、ミスジ、あるいはフタスジという名をもらっています。

本種は前翅から後翅にかけて、一本の白いすじをもち、中でもイチモンジチョウとアサマイチモンの二種が日本に広く分布しています。

両種はいろいろな面でよく似ており、同じ所で二種見ることも珍しくはないのですが、本学では、まだ後者のアサマイチモンジしか確認されていません。

五月末から六月、八月から九月に観察されているので、一年に二回発生するのかもしれない。紹介した両種とも、スイカズラが幼虫のえさであり、構内のフェンスのあちこちにこの植物が絡んでいるので、そのような場所で繁殖しているものと思われるが、私はまだ幼虫やサナギを見たことがありません。もっとも、特にそのための観察努力をしたとはいえませんが…。

(自然環境教育センター長 前田喜四雄)

■ 編集後記 ■

今年の夏は、冷夏で多方面に影響をあたえたようです。九月に入ってから、遅ればせながら夏を感じさせてくれる日が続きましたが、今号発行の頃には、虫の音が聴こえ、過ごしやすい季節を迎えていることでしょう。

今回の特集は、学長対談「奈良教育大学 新世紀へ」です。十月一日から大久保学長から柳沢学長に交代となり、併せて同日に国立大学法人法が施行され、平成十六年四月一日から国立大学法人に移行することになります。奈良教育大学が新たなスタートを切るにあたり目指すものは何かをご理解いただければ幸いです。

また、大久保前学長にはこの四年間、多くの功績を残していただきましたが、最近のものとして「特色ある大学教育支援プログラム」に選ばれたことと、奈良県教育委員会との「連携協力に関する覚書」の締結があり、今号にも掲載していますのでぜひ一読ください。

「ならやま」の編集を今年、四月から担当させていただくことになり、手探りの状態で編集に関わってまいりましたが、広報室の先生方にご迷惑をおかけしながらも発行することができ、ホッとしております。ご多忙にも関わらず、原稿依頼にご快諾いただいた執筆者の皆様には深く感謝いたしており、この場をお借りしてお礼申し上げます。今後も奈良教育大学をより一層身近に感じていただくための紙面づくりに努力してまいります。

(外山)



奈良教育大学 広報誌

第17号 平成15年10月1日 編集／広報室 発行／奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 TEL0742-27-9296 FAX0742-27-9141
<http://www.nara-edu.ac.jp/home-jp.htm>